

松葉模様の晴れ着をまとう遊女が、今までに一步踏み出そうとしている。「年始まわりの遊女図」は北斎五十年代後半の作品で、美人画の傑作のひとつ。たとえば、やわらかな曲線を描きながら後方に傾く姿勢は、幾重にも着た衣装の重みを見事に表している。整った顔立ちながら、不安げに足元に向けられた視線。優雅かつ慎重に歩みを進める様が強調される。華やかで美しい正月の一瞬を、まるでスナップ写真のように描きだす。北斎の技が凝縮した一幅だ。

遊女の優雅な歩みを捉える、北斎の技。

北斎、日本に帰る  
『年始まわりの遊女図』 葛飾北斎筆  
綴プロジェクト作品  
(高精細複製品)  
Vol. 05

綴TSUZURI  
文化財未来継承プロジェクト

日本の美を、人へ、  
未来へ、伝えていく。

公開情報  
二〇二〇年一月二日(木)～十九日(日)  
まで綴プロジェクト作品・新年風俗図  
をすみだ北斎美術館にて公開します。  
詳細は美術館公式サイトにて。



詳細は、公式サイト  
でご覧いただけます。  
[global.canon/ja/tsuzuri](http://global.canon/ja/tsuzuri)



ねんじまわりのゆうじょず  
綴プロジェクト作品 年始まわりの遊女図 葛飾北斎 筆

原本所蔵：スミソニアン協会フリーア美術館 寄贈先：墨田区（収蔵先：すみだ北斎美術館）  
Facsimiles of works in the collection of the Freer Gallery of Art, Smithsonian Institution, Washington, D.C.: Purchase  
—Charles Lang Freer Endowment, F1954.119.

Canon